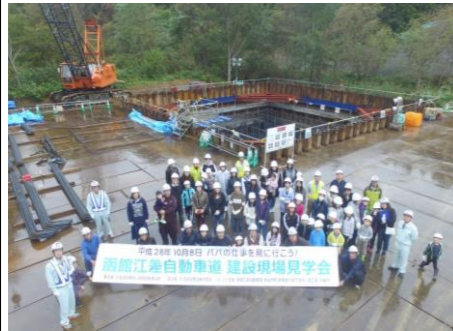


現場見学会

「パパの仕事を見に行こう！」土木工事への理解を深めていただくことを目的に函館江差自動車道木古内町の新幸連川橋下部外一連工事（現場代理人：富吉正人、監理技術者：坂尻篤彦）と亀川改良工事（現場代理人：野口芳伸、監理技術者：中村厚）の各々の現場で働く皆さんのご家族を対象にした見学会を初めて開催しました。



10月8日(土)9時30分、新幸連川橋の作業所に85名が集合。マイクロバスで札苅会館に移動。戸沼社長の挨拶に続き、スケジュールを確認し、工事概要の説明がありました。参加された皆さんは、ヘルメット、軍手、タオル、水を受け取り、最初の見学先の橋脚工区に移動。ドローンによる集合写真撮影に歓声が上がりました。次は盛土工区。バックホウの試乗体験に子ども達は大喜び。入社半年の齊藤さんの母・真喜子さんは「社会人になって頼もしくなった。地元に残ってくれて嬉しい」と目を細めていました。その後、札苅会館に戻り、記念品、お弁当、お茶をお渡しして見学会は終了しました。

10月15日(土)、亀川改良の見学会には35名が参加しました。集合場所の釜谷生活改善センターで受付を済ませ、木村常務の挨拶に続き、スケジュールと注意事項の確認、工事概要の説明の後、ヘルメット、軍手、タオル、飲み物水を受け取り、マイクロバスで最初の見学先A-2橋台に移動しました。



ドローンでの写真撮影に子ども達は大喜び。その後、徒歩で移動。盛土工区では測量機器のデモンストレーションやバックホウへの試乗が行われました。釜谷生活改善センターに戻り、記念品、お弁当、お茶、お餅をお渡しして終了しました。

柏陵高校 働く人にインタビュー

9月21日(水)、函館大学付属柏陵高校が開催した「働く人にインタビュー」に戸沼社長はじめ4名が参加し、同校1年生に建設業の役割や魅力を分かりやすく説明しました。柏陵高校は、1年生の総合学習で様々な分野で働く人々へのインタビューを実施しています。今年は21職種30名が参加。活発に質疑応答・意見交換が行われました。



安全と衛生



戸沼岩崎建設株式会社 発行
平成28年10月17日
向秋号 <http://www.tonuma.com/>
第218号

清掃ボランティア活動 湯の川温泉街&魚道

8月21日(日)、前日に開催された「はこだて湯の川温泉いさり火まつり」の会場周辺の清掃活動に参加しました。当社は平成18年から「いさり火まつり」終了後、地域貢献活動の一環として清掃活動を続けています。当日は18名が参加。湯の川を訪ねる観光客や市民の皆さんへの想いも込めて、車道や歩道に散在する空き缶やペットボトル、煙草の吸い殻などをきれいに拾い集めました。



9月3日(土)、NPO法人北海道魚道研究会が主催する「第13回魚道清掃ボランティア」に梅木常務をはじめ4名が参加しました。



清掃する魚道は、今金町種川の下ハカイマップ川のらせん式魚道と直線式魚道の2カ所です。当日は88名が参加。上流のらせん式魚道は、溜まった土砂をスコップでかき出し、バケツリレーで運搬。魚道の詰まりを解消しました。下流では魚道に乗り上げた流木を除去しました。

感謝状

10月12日(水)、木古内町より感謝状をいただきました。授与式には木村常務と函館江差自動車道の亀川改良作業所の野口現場代理人、新幸連川橋作業所の坂尻監理技術者が出席しました。

台風10号で発生した倒木の処理やみそぎ浜清掃等の復旧作業に亀川改良と新幸連川橋の両作業所が率先して尽力したことに大森町長から感謝状が贈られました。

木村常務は「これからも地域の安全と安心を支え、お役に立てるよう努めて参ります」とお礼を述べました。



建設工事追い込み期災害防止運動

建設工事追い込み期災害防止運動(10月1日~12月31日)が実施中です。毎月の土木会議や建築会議で函館労働基準監督署管内の前月末の業種別労働災害発生状況を報告しています。9月30日現在、函館労働基準監督署管内で死亡災害は発生していません。土木工事業の労働災害は、前年同比10名減少しています。しかし、建築工事業は3名、木造建築業は2名、その他の建設業は4名、各々増加しています。死傷災害は例年追い込み期に当たる10月から12月にかけて多発する傾向にあり、死亡者、死傷者ともに年間の3割弱がこの時期に発生しています。また、当社は、昨年の10月中旬から11月上旬にかけて労働災害を経験しました。

これらのことを踏まえて、一層、三大災害(墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害)、火災災害、交通労働災害の防止に努めて参りましょう。

戸沼会長 同友会松前移動例会 & 現場視察



戸沼会長は、9月27日(火)、松前町の温泉旅館矢野で開催された(一社)北海道中小企業家同友会函館支部の松前移動例会で自らの経営実践を発表しました。テーマは「儲かることと儲けることの違い~地域にアテにされる会社を目指して~」です。松前、福島、知内、上ノ国、江差、そして、函館から26名の経営者や幹部が集い、戸沼会長の発表に傾き、メモを取り、グループ討論で語りあい、学びあいました。

また、戸沼会長は、今回の松前移動例会に併せて、木古内町の亀川地区と幸連地区、知内町の小谷石地区、福島町の白符地区と浦和地区の5つの作業現場を訪ね、一人ひとりに声をかけ、健康に気をつけ、ケガや事故が無いようにと呼びかけました。



マネジメントシステム外部審査



9月13日(火)と14日(水)、(株)マネジメントシステム評価センターの審査員の原さんと下國さんを迎えて外部審査が行われました。

審査では、毎年4月に開催している社内研修会で、方針展開表を基に前年度の工事に対する評価及び問題点を討議し、今後の施工展開に活かしていることに高評を得ました。一方、審査員から新入社員一般教育(就業規則、環境教育等)やストレスチェックへの対応の工夫等の指摘を受けました。マネジメントシステムを日々の業務に活かして参りましょう。